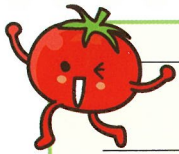


# 適用作物への防除データ

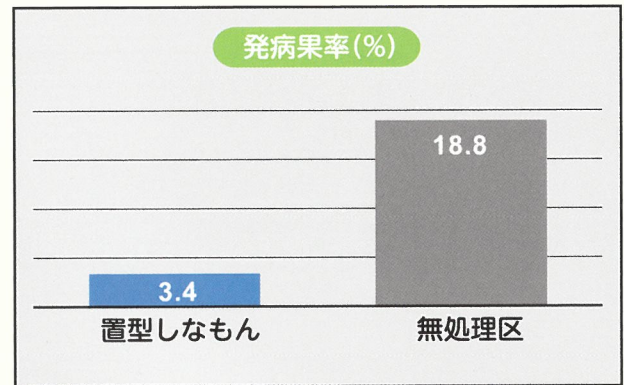


## トマト 灰色カビ病 No.1

和歌山県農業試験場(H.27年度)

供試薬剤	処理量	発病果率 (%)	防除価	薬害
置型しなもん	30mL/10a/日	3.4	82.1	-
無処理区	-	18.8	-	-

無処理区と比較して高い防除効果が認められた。

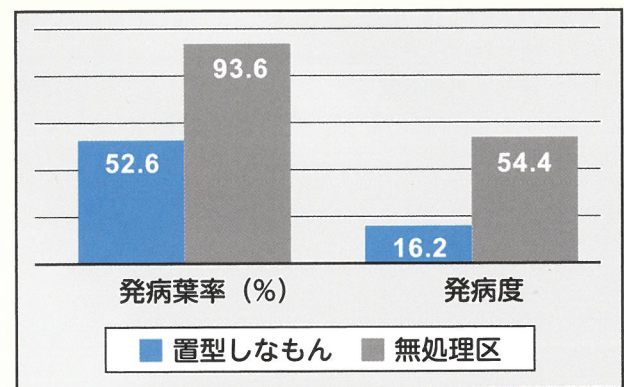


## トマト すずかび病 No.2

和歌山県農業試験場(H.28年度)

供試薬剤	処理量	発病葉率 (%)	発病度	防除価	薬害
置型しなもん	30mL/10a/日	52.6	16.2	70.3	-
無処理区	-	93.6	54.4	-	-

無処理区と比較して高い防除効果が認められた。

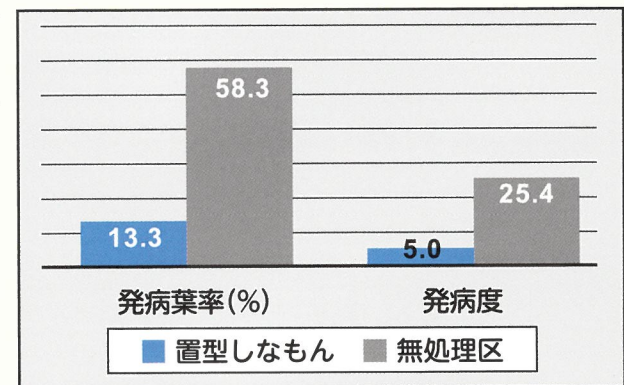


## ナス すずかび病 No.1

高知県農業技術センター(H.27年度)

供試薬剤	処理量	発病葉率 (%)	発病度	防除価	薬害
置型しなもん	30mL/10a/日	13.3	5.0	80.3	-
無処理区	-	58.3	25.4	-	-

無処理区と比較して高い防除効果が認められた。

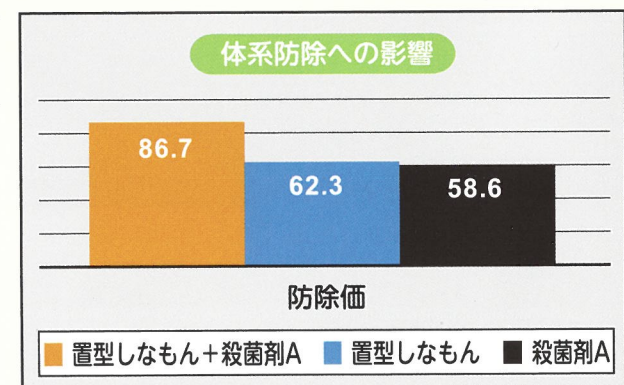


## ナス すずかび病 No.2

高知県農業技術センター(H.30年度)

供試薬剤	希釈倍数	慣行防除併用処理	発病葉率 (%)	発病度	防除価	薬害
置型しなもん	30mL/10a/日	有り	14.4	4.3	86.7	-
		無し	39.8	12.2	62.3	-
殺菌剤A	1000倍	-	37.1	13.4	58.6	-
無処理区	-	-	69.9	32.4	-	-

a)慣行防除は殺菌剤Aの1000倍希釈液散布を慣行防除とした。  
慣行防除剤(殺菌剤A)と併用することで殺菌剤A単用区、無処理区と比較して高い防除効果が認められた。



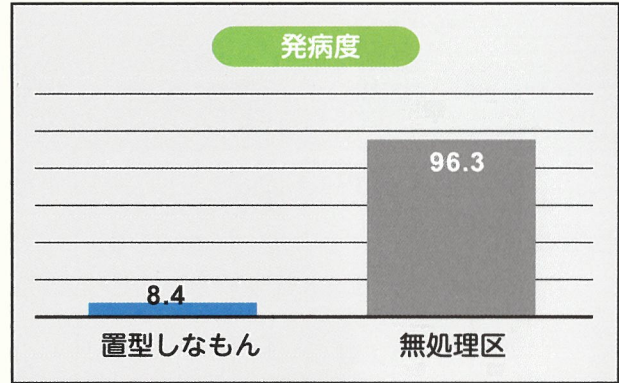


### キュウリ 褐斑病 No.1

宮崎県総合農業試験場(H.25年度)

供試薬剤	処理量	発病度	防除価	薬害
置型しなもん	30mL/10a/日	8.4	91.3	-
無処理区	-	96.3	-	-

無処理区と比較して高い防除効果が認められた。



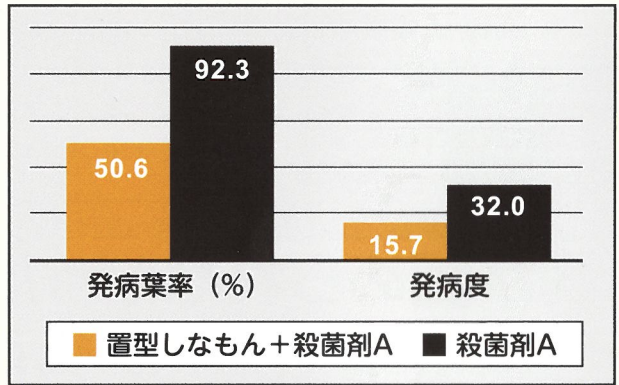
### キュウリ 褐斑病 No.2

宮崎県総合農業試験場(H.31年度)

供試薬剤	処理量	発病葉率 (%)	発病度	病斑個数	防除価	薬害
置型しなもん + 殺菌剤A	30mL/10a/日	50.6	15.7	310.7	79.6	-
殺菌剤A単用	-	92.3	32.0	1521.3	-	-

※防除価は病斑個数から計算し求めた。

慣行防除剤（殺菌剤A）と併用することで殺菌剤A単用と比較して高い防除効果が認められた。

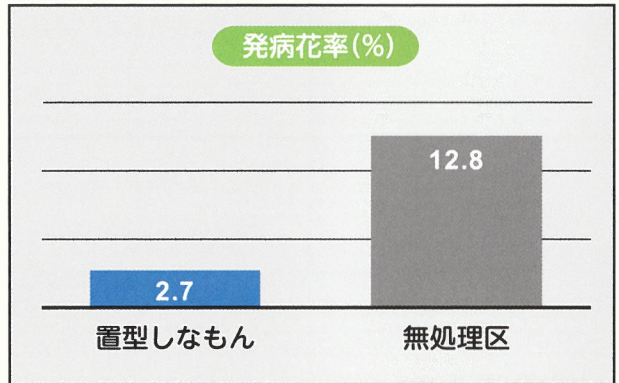


### ペチュニア 灰色かび病

静岡県農林技術研究所(H.29年度)

供試薬剤	処理量	発病花率 (%)	防除価	薬害
置型しなもん	30mL/10a/日	2.7	78.7	-
無処理区	-	12.8	-	-

無処理区と比較して高い防除効果が認められた。



### バーベナ 灰色かび病

和歌山県農業試験場(H.29年度)

供試薬剤	処理量	発病花序率 (%)	防除価	薬害
置型しなもん	30mL/10a/日	1.4	88.4	-
無処理区	-	11.7	-	-

無処理区と比較して高い防除効果が認められた。

